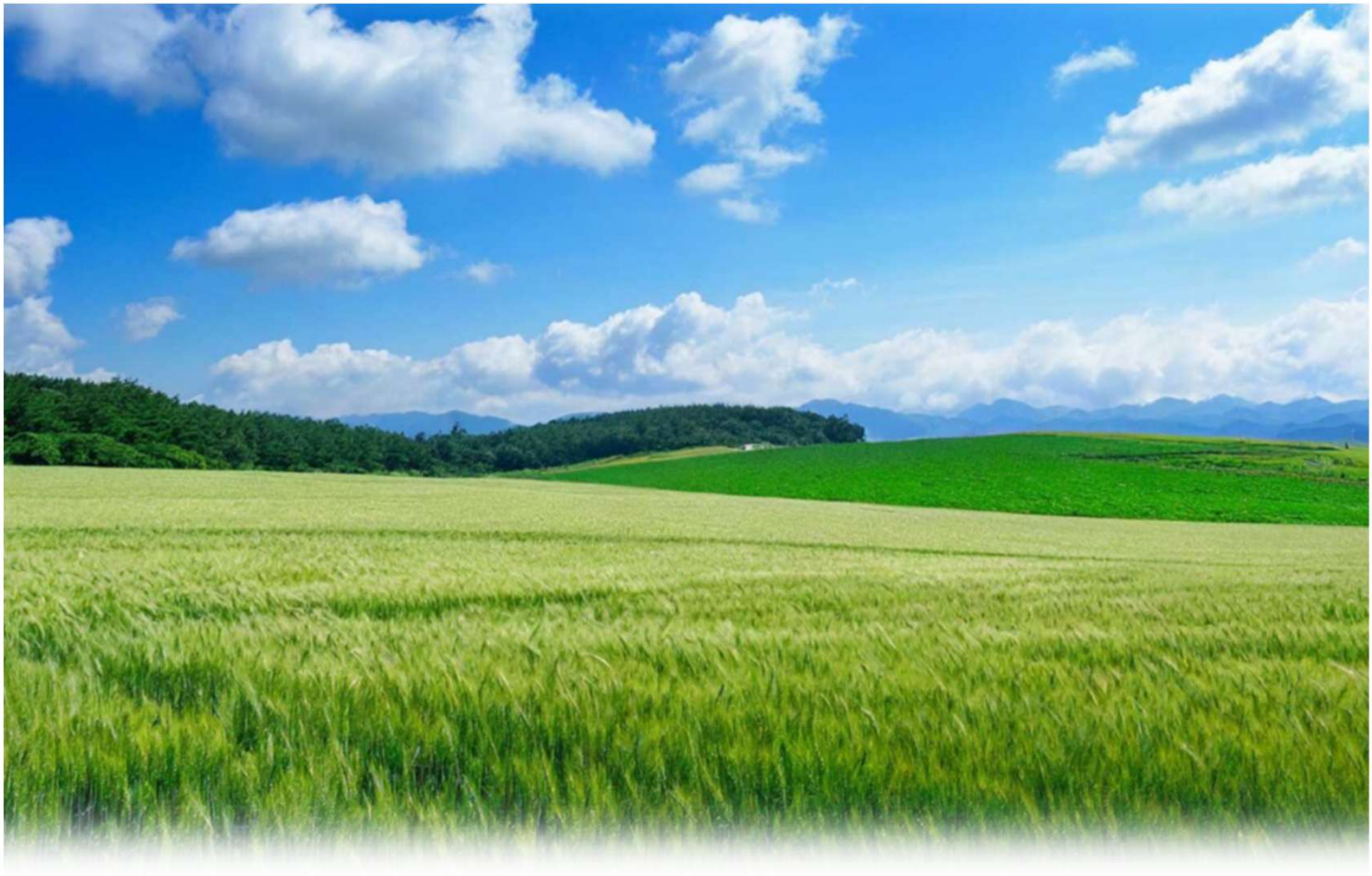


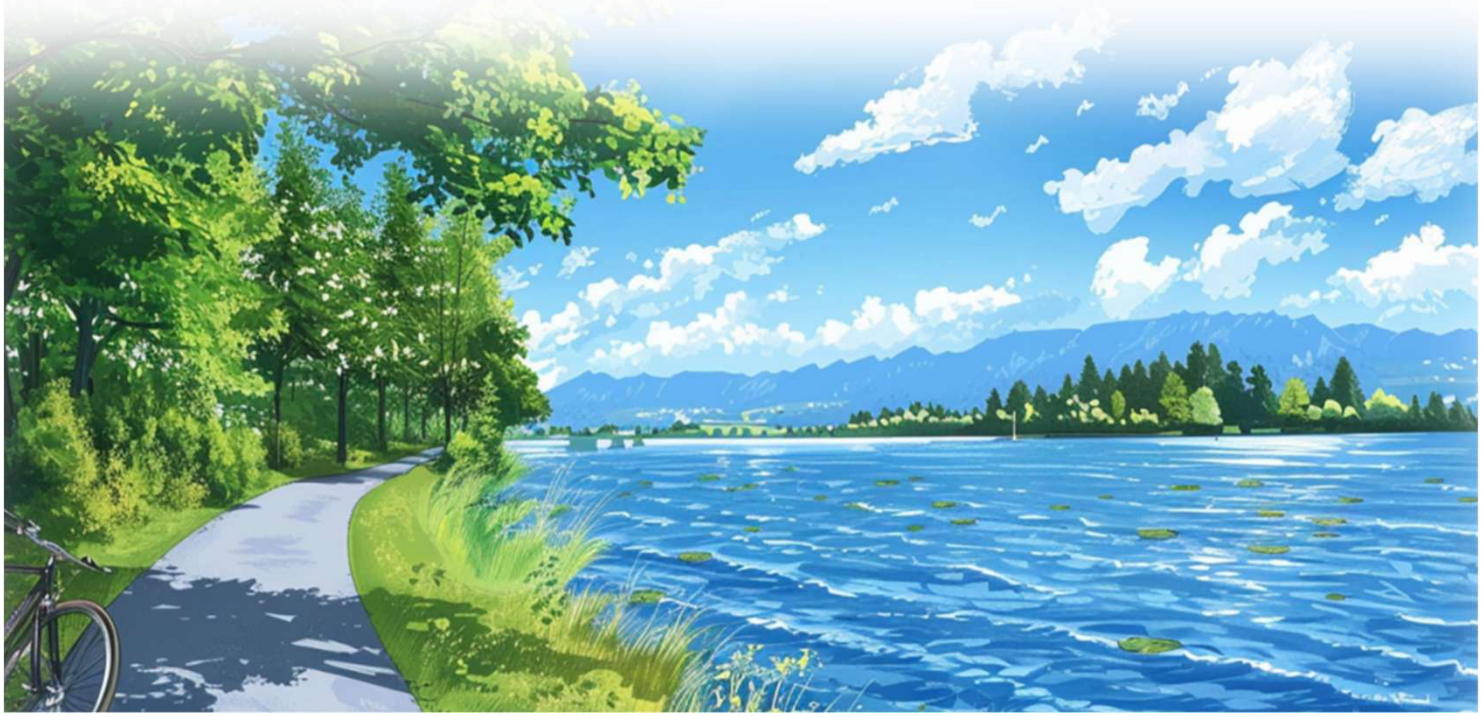
環境活動報告書

ENVIRONMENTAL REPORT 53rd：2024.10～2025.9

株式会社東海テクノ

http://www.tokai-techno.co.jp

53期：2024年10月～2025年9月



環境活動報告書の概要

CONTENTS

Ⅰ　53期（2024年10月～2025年9月）環境目標の達成状況 ・・・・・1

Ⅱ　省エネルギーへの取り組み（ＣＯ２排出量の推移） ・・・・・・・4

Ⅲ　省資源化への取り組み（廃棄物排出量の推移） ・・・・・・・・・5

Ⅳ　環境関連法の遵守状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

Ⅴ　各サイトの環境活動への取り組み状況（四日市AC） ・・・・・・・10

Ⅵ　各サイトの環境活動への取り組み状況（松阪AC） ・・・・・・・10

Ⅶ　各サイトの環境活動への取り組み状況（本社、営業） ・・・・・・・11

環 境 方 針 Sustainability

顧客とともに『地域の環境保全を担う』理念のもと

私たちの社会の持続的発展のために

- 事業活動の環境負荷を継続的に把握・評価します
- 環境を「はかる」「まもる」「つなぐ」技術力と提案力で支援し製品品質評価や新エネルギー・資源リサイクルの開発支援に対応します
- 省資源・省エネルギー・廃棄物の３Rやグリーン調達を進め、環境負荷低減に努めます
- 地域社会や国際社会に積極的に協力し、環境汚染の防止と環境負荷低減への貢献に努めます
- 環境法規制を遵守し、遵守に寄与する情報・技術の提言と成果の波及に努めます

私たちの活動の維持と進化のために

- 持続的発展活動を確実に行う仕組みを作ります
- 成果としてどうなるべきかを目標設定します
- 仕組みと目標を皆で共有します
- 仕組みが機能しているかを確認します
- 目標の進捗と地域への貢献度に注視します
- 仕組みの改善を常に行います
- 常に「さらに良く」を追求し高次元化します

53期（2024年10月～2025年9月）環境目標の達成状況

53期

①環境法遵守率100%の達成		達成度	評価
四日市分析センター	法遵守チェックによる定期的な監視	100%	→ ○
松阪分析センター	法遵守チェックによる定期的な監視	100%	→ ○

②環境負荷と環境貢献を取り入れた環境報告書の作成		達成度	評価
全社	環境レポートの充実及び活動情報の積極的公開（環境レポートのWeb公開）	継続実施中	→ ○

③環境関連設備の管理システムを維持改善する		達成度	評価
四日市分析センター	環境関連設備の管理システムの維持改善	100%	→ ○
松阪分析センター	環境関連設備の管理システムの維持改善	100%	→ ○

④自社利用資源の削減（業務効率を高めながらエネルギー使用量を削減する）		実績値	達成度	評価
本社	50期の年間実績値 に対して1%削減する（絶対量）（47.0tから46.5tへ）	17.5 t	62.7%削減	↑ ◎
四日市分析センター	50期比で粗利1万円に対する二酸化炭素の排出量を1%削減する(3.70kg／万円から3.66kｇ／万円へ)	1.21kg	67.4%削減	↑ ◎
松阪分析センター	50期比で粗利1万円に対する二酸化炭素の排出量を1%削減する (2.78kｇ／万円から2.75kｇ／万円へ)	1.17kg	57.8%削減	↑ ◎

⑤自社利用資源の削減（廃棄物削減３R活動の恒常的実施）		実績値	達成度	評価
本社	廃棄物削減の３R活動の恒常的活動を実施し、50期の廃棄物排出量の1%を（303kgから300kgへ）削減する	208kg	31.3%削減	↑ ◎
四日市分析センター	廃棄物削減の３R活動を恒常的に実施し50期の粗利１万円に対する廃棄物排出量を1%削減（117ｇ／万円から115ｇ／万円へ）する	117g	0.3%削減	↓ △
松阪分析センター	廃棄物削減の３R活動を恒常的に実施し50期の粗利１万円に対する廃棄物排出量を1%削減（78.7ｇ／万円から77.9ｇ／万円へ）する	99.3g	26.2%増加	↓ ×

⑥顧客（地球・地域）の法遵守と貢献活動及び環境負荷低減を目指した情報公開		達成度	評価
営業本部	環境管理情報の収集と顧客への提供	100%以上	↑ ◎

⑦環境負荷低減設備の販売に基づく二酸化炭素削減への貢献		達成度	評価
営業本部	脱炭素算出サポート及び省エネ診断の提案（訪問・DM）に加え、WEBセミナー企画提案、集客、フォローを中心とした提案活動の実施	セミナー実施 売上げ目標達成	↑ ◎

53期（2024年10月～2025年9月）環境目標の達成状況

◆エネルギー使用量に対する資源生産性　　単位：kg/万円

サ　イ　ト	2021年	50期	51期	52期	53期	前年比
四日市分析センター	4.28	3.70	1.69	0.92	1.21	30.7%
松阪分析センター	3.30	2.78	1.75	1.21	1.17	-2.9%

◆廃棄物削減に対する資源生産性　　単位：g/万円

サ　イ　ト	2021年	50期	51期	52期	53期	前年比
四日市分析センター	131	117	117	142	117	-17.7%
松阪分析センター	69.5	78.7	88.5	66.7	99.3	48.8%

自社利用資源の有効活用については、エネルギー・廃棄物削減ともに粗利益をもとに原単位換算したもので評価した。具体的には資源生産性という指標を用い、粗利益１万円を捻出する活動に対しての二酸化炭素の発生量及び廃棄物の発生量を把握したものを用いて評価した



◆エネルギー使用に伴う二酸化炭素の絶対量　　単位：ｔ

サ　イ　ト	2021年	50期	51期	52期	53期	前年比
本　　社	44.9	47.0	41.6	26.4	17.5	-33.7%
四日市分析センター	284.2	284.3	140.6	73.7	109.0	47.9%
松阪分析センター	106.2	90.9	60.33	39.6	35.5	-10.4%
全　　社	435.3	422.2	242.5	139.8	162.1	16.0%

◆廃棄物削減の絶対量　　単位：ｔ

サ　イ　ト	2021年	50期	51期	52期	53期	前年比
本　　社	443	303	349	385	208	-45.9%
四日市分析センター	8690	8988	9736	11304	10537	-6.8%
松阪分析センター	2233	2580	3046	2187	3006	37.4%
全　　社	11366	11871	13131	13876	13751	-0.9%

53期（2024年10月～2025年9月）環境目標の達成状況

■　エネルギー資源に対する活動について

　エネルギー使用量に関しては、目標値に対して本社は62.7%削減、四日市分析センターは67.4%削減、松阪分析センターは57.8%削減する結果となりました。

　52期と比較した各サイトの傾向としては、電気使用によるCO_2排出量に関して、本社、松阪分析センターは横ばい、四日市分析センターは増加の結果となりました。また、ガソリン使用によるCO2排出量に関して、本社、松阪分析センターは減少、四日市分析センターは増加の結果となりました。

　エネルギー使用量削減に当たっては、四日市分析センターでは排ガス測定の合理化・効率化、松阪分析センターにおいてはBOD室の空調設備更新による電気使用量の削減、本社ににおいては、勤怠システムの更新・再構築の削減活動を実施しました。

■　廃棄物削減に対する活動について



　廃棄物量に関しては、目標値に対して本社は31.3%削減、四日市分析センターは0.3%削減、松阪分析センターは26.2%増加する結果となりました。

　52期の廃棄物量で比較すると、本社は減少、四日市分析センター、松阪分析センターにおいては増加する結果となりました。

　廃棄物削減に当たっては、本社においては、人事労務管理の効率化、四日市分析センターでは仕様書の電子化、松阪分析センターでは、検知管測定への変更による使用試薬・廃液の削減活動を実施しました。

■　顧客（地域・地球）の法遵守と環境貢献活動及び負荷低減

　当社に関連する全ての顧客の環境負荷低減に貢献できることを目標に活動に取り組んでおり以下の活動を実施しました。

①環境管理情報の収集と顧客への提供　：　カワセミ通信の発行等

②設備更新を中心とした販売提案　：　省エネ型ボイラ販売提案

③各企業への訪問及びDMを中心とした拡販活動

④報告書の電子納品を推奨

⑤HPのコラムを随時更新

⑥対面によるセミナー・講習会を主催

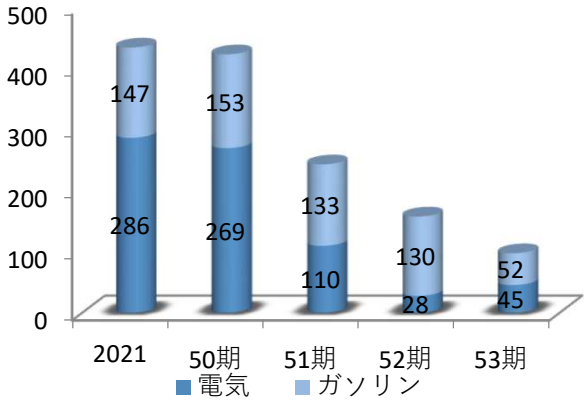


省エネルギーへの取り組み（CO2排出量の推移）

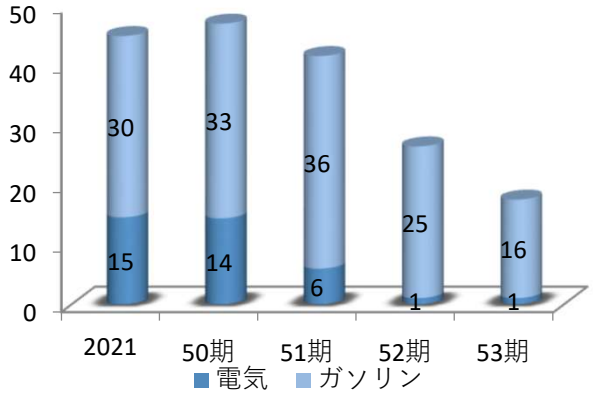
53期

二酸化炭素排出量の推移　（ｔ／年）

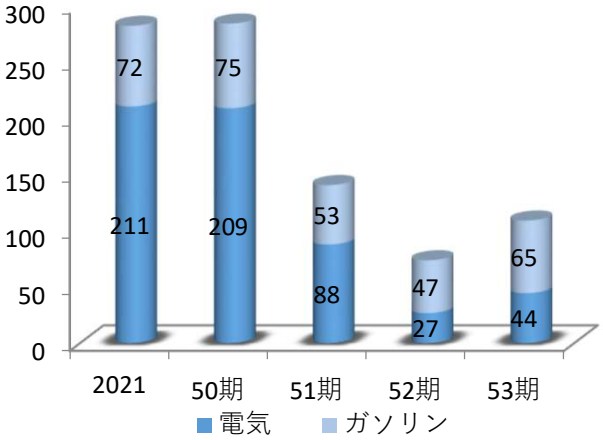
全　　社



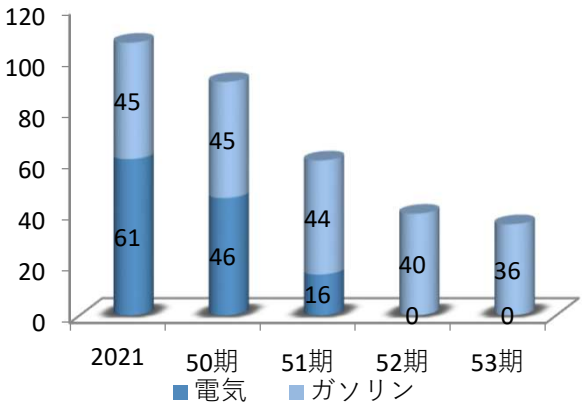
本　　社



四日市分析センター

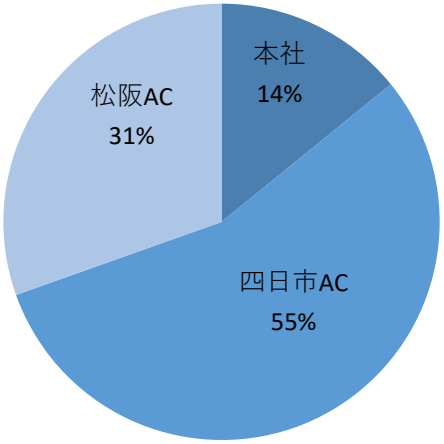


松阪分析センター

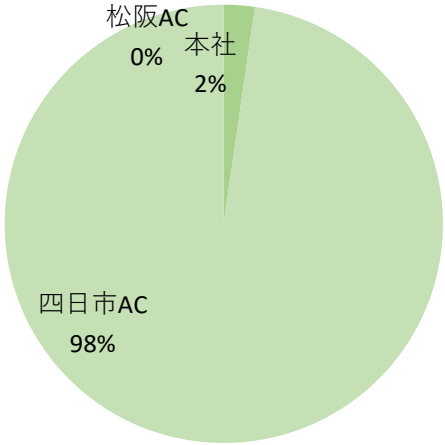


サイト間の使用割合

ガソリン使用によるCO_2排出量の割合



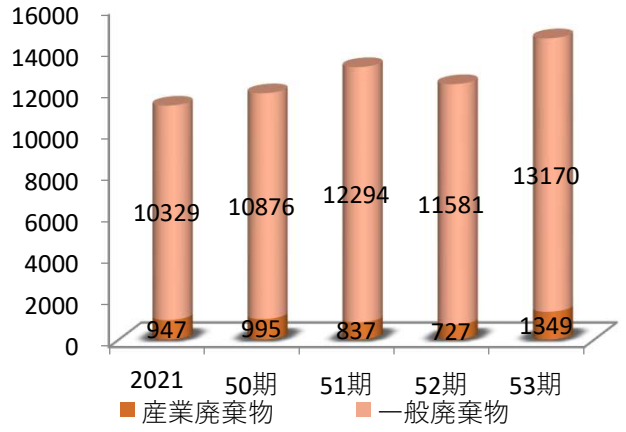
電気使用によるCO_2排出量の割合



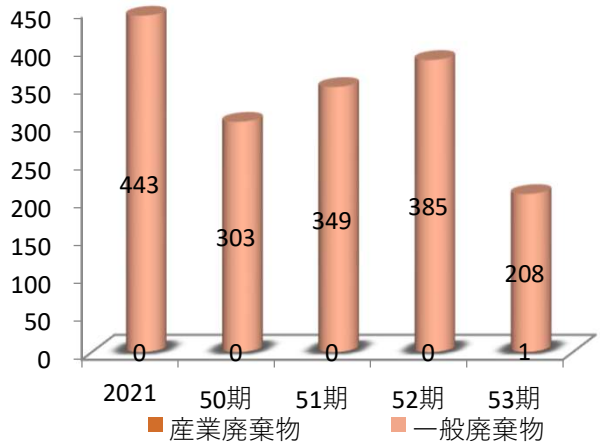
省資源化への取り組み（廃棄物排出量の推移）

廃棄物排出量の推移　(kg／年)

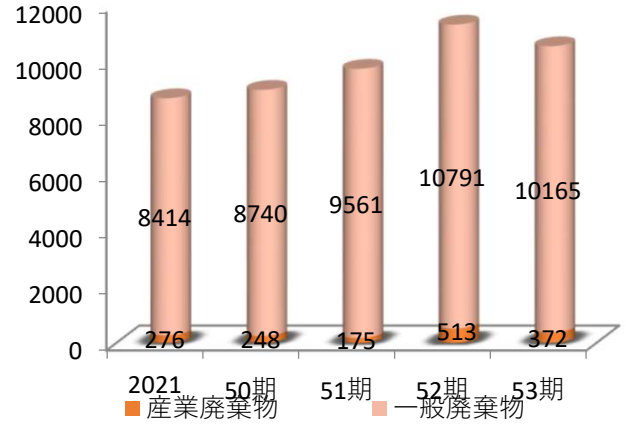
全　　社



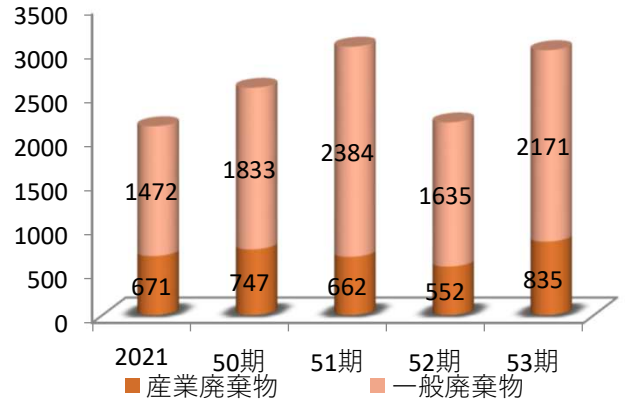
本　　社



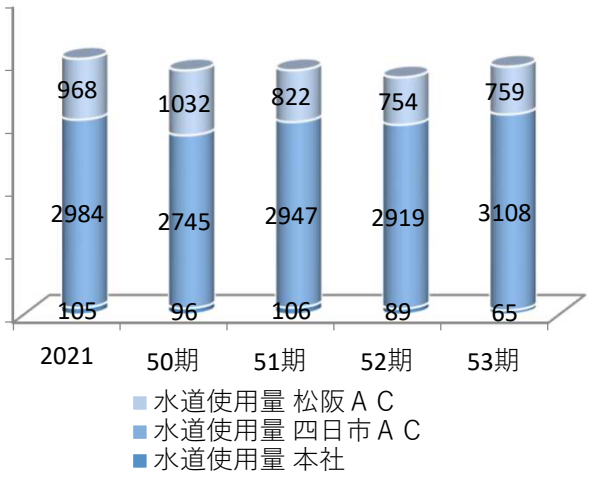
四日市分析センター

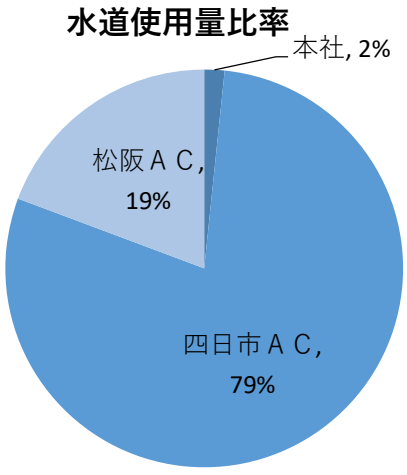


松阪分析センター



水道使用量の推移　　（m3／年）





環境法令の遵守状況

53期

環境事業部

当社の事業活動に関連する環境法令については以下の法令が該当し、遵守していることを確認しております。

1.悪臭防止法関連（敷地境界における悪臭物質濃度測定）

本年も、事業活動による周辺地域への大気汚染防止対策として、四日市分析センターにおいては悪臭防止法に定められている臭気指数を、松阪分析センターにおいては悪臭物質について年１回敷地境界にて調査を実施し、法規制の基準値を遵守していることを確認しております。

53期　悪臭物質測定結果一覧（四日市分析センター）

測定項目	測定値		自主基準
	風上	風下	
臭気指数	<10	<10	15

53期　悪臭物質測定結果一覧（松阪分析センター）

測定項目	測定値		自主基準	測定項目	測定値		自主基準
	風上	風下			風上	風下	
ｱﾝﾓﾆｱ	<0.1	<0.1	0.5	ｲｿﾊﾞﾚﾙｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	<0.0003	<0.0003	0.003
ﾒﾁﾙﾒﾙｶﾌﾟﾀﾝ	<0.0002	<0.0002	0.002	ｲｿﾌﾞﾀﾉｰﾙ	<0.09	<0.09	0.45
硫化水素	<0.002	<0.002	0.02	酢酸ｴﾁﾙ	<0.3	<0.3	1.5
硫化ﾒﾁﾙ	<0.001	<0.001	0.01	ﾒﾁﾙｲｿﾌﾞﾁﾙｹﾄﾝ	<0.1	<0.1	0.5
二硫化ﾒﾁﾙ	<0.0009	<0.0009	0.009	ﾄﾙｴﾝ	<1	<1	5
ﾄﾘﾒﾁﾙｱﾐﾝ	<0.0005	<0.0005	0.0025	ｽﾁﾚﾝ	<0.04	<0.04	0.2
ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	<0.005	<0.005	0.025	ｷｼﾚﾝ	<0.1	<0.1	0.5
ﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	<0.005	<0.005	0.025	ﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸	<0.003	<0.003	0.015
ﾉﾙﾏﾙﾌﾞﾁﾙｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	<0.0009	<0.0009	0.0045	ﾉﾙﾏﾙ酪酸	<0.0001	<0.0001	0.0005
ｲｿﾌﾞﾁﾙｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	<0.002	<0.002	0.01	ﾉﾙﾏﾙ吉草酸	<0.00009	<0.00009	0.00045
ﾉﾙﾏﾙﾊﾞﾚﾙｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	<0.0009	<0.0009	0.0045	ｲｿ吉草酸	<0.0001	<0.0001	0.0005

2.廃棄物の処理及び清掃に関する法律

環境事業部では、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、事業活動により排出された廃棄物について、適切に分類保管を行っており、周辺環境への漏洩はありませんでした。

また、定期的に漏洩防止訓練を行っており、周辺環境への漏洩防止を徹底しております。

3.毒物及び劇物取締法（毒物及び劇物の管理）

環境事業部では、事業活動において使用する毒物及び劇物について、保管場所を決め、適切に表示しており、法律を遵守しております。



4.下水道法（放流水）

四日市分析センター、松阪分析センターから排出される放流水について、生活環境項目に関しては月1回、健康項目に関しては年2回調査を実施しております。

その結果全ての調査項目において自主基準をクリアしていることが確認できました。

53期　放流水水質結果一覧（四日市分析センター）

測定項目	測定値		自主基準	測定項目	測定値		自主基準
	5月	11月			5月	11月	
ﾌｪﾉｰﾙ類	<0.1	<0.1	1	四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	0.02
銅	0.20	0.04	1	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0004	<0.0004	0.04
亜鉛	0.047	0.076	2	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.002	<0.002	0.2
溶解性ﾏﾝｶﾞﾝ	0.02	0.06	10	ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.004	<0.004	0.4
溶解性鉄	0.26	0.15	10	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0005	<0.0005	3
全ｸﾛﾑ	<0.04	<0.04	2	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	<0.0002	<0.0002	0.02
有機ﾘﾝ	<0.1	<0.1	1	ｼﾏｼﾞﾝ	<0.0003	<0.0003	0.03
ﾌｯ素	<0.1	0.1	15	ﾁｳﾗﾑ	<0.0006	<0.0006	0.06
ｶﾄﾞﾐｳﾑ	<0.001	<0.001	0.1	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	<0.002	<0.002	0.2
ｼｱﾝ	<0.1	<0.1	1	ｾﾚﾝ	<0.002	<0.002	0.1
鉛	0.01	<0.01	0.1	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	<0.001	<0.001	0.1
六価ｸﾛﾑ	<0.02	<0.02	0.5	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0006	<0.0006	0.06
ﾋ素	<0.005	<0.005	0.1	1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	<0.05	<0.05	0.5
全水銀	<0.0005	<0.0005	0.005	ﾒﾁﾙﾒﾙｶﾌﾟﾀﾝ	<0.0005	<0.0005	0.016
ｱﾙｷﾙ水銀	<0.0005	<0.0005	検出されないこと	硫化水素	<0.0002	<0.0002	0.056
ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾌｪﾆﾙ	<0.0005	<0.0005	0.003	硫化ﾒﾁﾙ	<0.0002	<0.0002	0.16
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.002	<0.002	0.3	二硫化ﾒﾁﾙ	<0.01	<0.01	0.283
ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.0005	<0.0005	0.1	ｱﾝﾓﾆｱ・ｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	11	16	100
ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	0.027	<0.002	0.2	ホウ素	0.18	0.05	10

単位：mg/L

53期　放流水水質結果一覧（松阪分析センター）

測定項目	測定値		自主基準	測定項目	測定値		自主基準
	5月	11月			5月	11月	
ﾌｪﾉｰﾙ類	<0.1	<0.1	1	四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	0.02
銅	<0.02	<0.02	1	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0004	<0.0004	0.04
亜鉛	0.034	0.023	2	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.002	<0.002	0.2
溶解性ﾏﾝｶﾞﾝ	0.20	<0.02	10	ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.004	<0.004	0.4
溶解性鉄	0.30	0.15	10	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0005	<0.0005	3
全ｸﾛﾑ	<0.04	<0.04	2	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	<0.0002	<0.0002	0.02
有機ﾘﾝ	<0.1	<0.1	1	ｼﾏｼﾞﾝ	<0.0003	<0.0003	0.03
ﾌｯ素	0.24	<0.1	15	ﾁｳﾗﾑ	<0.0006	<0.0006	0.06
ｶﾄﾞﾐｳﾑ	<0.001	<0.001	0.1	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	<0.002	<0.002	0.2
ｼｱﾝ	<0.1	<0.1	1	ｾﾚﾝ	<0.002	<0.002	0.1
鉛	<0.01	<0.01	0.1	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	<0.001	<0.001	0.1
六価ｸﾛﾑ	<0.02	<0.02	0.5	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0006	<0.0006	0.06
ﾋ素	<0.005	<0.005	0.1	1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	<0.05	<0.05	0.5
全水銀	<0.0005	<0.0005	0.005	ﾒﾁﾙﾒﾙｶﾌﾟﾀﾝ	<0.0005	<0.0005	0.016
ｱﾙｷﾙ水銀	<0.0005	<0.0005	検出されないこと	硫化水素	<0.0002	<0.0002	0.056
ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾌｪﾆﾙ	<0.0005	<0.0005	0.003	硫化ﾒﾁﾙ	<0.0002	<0.0002	0.16
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.002	<0.002	0.3	二硫化ﾒﾁﾙ	<0.01	<0.01	0.283
ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.0005	<0.0005	0.1	ｱﾝﾓﾆｱ・ｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	0.6	<0.1	100
ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	<0.002	<0.002	0.2	ホウ素	0.02	0.05	10

単位：mg/L

5.三重県生活環境の保全に関する条例（土壌及び地下水汚染に関する規制）

本年も四日市分析センター及び松阪分析センターの各サイトにおいて、有害物質の使用特定施設における調査等（第72条の3）に基づく地下水調査を実施しました。

その結果、全ての項目において法規制の基準をクリアしており、事業活動における地下水汚染は、確認されませんでした。

53期　地下水水質結果（四日市分析センター）

測定項目	測定値	自主基準	測定項目	測定値	自主基準
ｶﾄﾞﾐｳﾑ	<0.0003	0.01	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.002	0.02
ｼｱﾝ	<0.1	検出されないこと	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.004	0.04
有機ﾘﾝ	<0.1	検出されないこと	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0005	1
鉛	<0.001	0.01	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0006	0.006
六価ｸﾛﾑ	<0.01	0.05	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	<0.0002	0.002
ﾋ素	0.005	0.01	ﾁｳﾗﾑ	<0.0006	0.006
全水銀	<0.0005	0.0005	ｼﾏｼﾞﾝ	<0.0003	0.003
ｱﾙｷﾙ水銀	<0.0005	検出されないこと	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	<0.002	0.02
PCB	<0.0005	検出されないこと	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	<0.001	0.01
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.001	0.03	ｾﾚﾝ	<0.001	0.01
ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.0005	0.01	ﾌｯ素	0.18	0.8
ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	<0.002	0.02	ﾎｳ素	0.02	1
四塩化炭素	<0.0002	0.002	1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	<0.005	0.05
1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0004	0.004	塩ﾋﾞﾓﾉﾏｰ	<0.0002	0.002

単位：mg/L

53期　地下水水質結果（松阪分析センター）

測定項目	測定値	自主基準	測定項目	測定値	自主基準
ｶﾄﾞﾐｳﾑ	<0.0003	0.01	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.002	0.02
ｼｱﾝ	<0.1	検出されないこと	ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.004	0.04
有機ﾘﾝ	<0.1	検出されないこと	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0005	1
鉛	<0.001	0.01	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0006	0.006
六価ｸﾛﾑ	<0.01	0.05	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	<0.0002	0.002
ﾋ素	<0.001	0.01	ﾁｳﾗﾑ	<0.0006	0.006
全水銀	<0.0005	0.0005	ｼﾏｼﾞﾝ	<0.0003	0.003
ｱﾙｷﾙ水銀	<0.0005	検出されないこと	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	<0.002	0.02
PCB	<0.0005	検出されないこと	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	<0.001	0.01
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.001	0.03	ｾﾚﾝ	<0.001	0.01
ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	<0.0005	0.01	ﾌｯ素	0.24	0.8
ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	<0.002	0.02	ﾎｳ素	0.02	1
四塩化炭素	<0.0002	0.002	1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	<0.005	0.05
1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	<0.0004	0.004	塩ﾋﾞﾓﾉﾏｰ	<0.0002	0.002

単位：mg/L

6.騒音規制法・振動規制法

四日市分析センター及び松阪分析センター各サイトの敷地境界において、事業活動における騒音、振動測定調査を実施しました。各サイトにおいて、全ての地点で自主基準をクリアしており、事業活動による周辺環境への騒音、振動の苦情はありませんでした。

53期　騒音振動測定結果（四日市分析センター）

地点	測定項目	測定値	自主基準	測定項目	測定値	自主基準
①	騒音レベル（L_5）	57 dB（A）	70 dB（A）	振動レベル（L_{10}）	40 dB	65 dB
②		53 dB（A）			43 dB	
③		65 dB（A）			38 dB	
④		67 dB（A）			36 dB	
⑤		56 dB（A）			38 dB	

53期　騒音振動測定結果（松阪分析センター）

地点	測定項目	測定値	自主基準	測定項目	測定値	自主基準
①	騒音レベル（L_5）	46 dB（A）	70 dB（A）	振動レベル（L_{10}）	<30 dB	65 dB
②		41 dB（A）			<30 dB	
③		42 dB（A）			<30 dB	
④		47 dB（A）			<30 dB	

7.フロン排出抑制法（改正フロン類法）

四日市分析センター、松阪分析センターに設置されている第一種特定製品（エアコン等）に関して、対象となる機器について定期点検を実施し、フロンの漏洩がないか維持管理を行っております。



8.水質汚濁防止法（地下浸透規制））

四日市分析センター、松阪分析センターに設置されている流し台等に関して洗浄施設として届け出を行っており、両サイトでは構造等に関する基準における定期点検を実施して、異常がないことを確認しております。

9.放射性同位体元素等による放射線障害の防止に関する法律（四日市分析センターのみ）

四日市分析センターにおいて、放射線障害予防規則を遵守し、対象の放射線であるECD検出器（Ni63）の機器表面で放射線を測定しました。その結果、放射線量が基準値以内であったことを確認しております。

測定結果

測定月	放射線量等量率	基準値
3月	0.047	0.6
9月	0.050	0.6

単位：μsv/h

環境活動への取り組み状況

四日市分析センター

非ガス測定の合理化・効率化 （NOX、SOX、オルザット法）

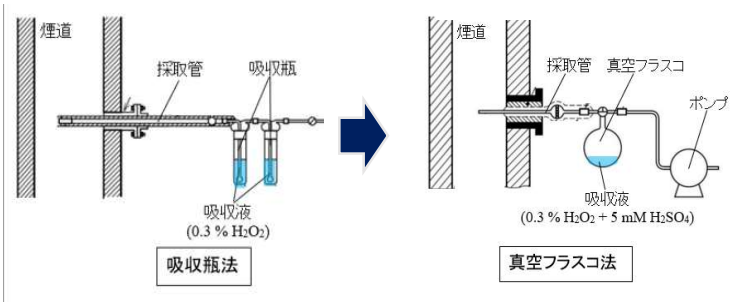
①オルザット法から排ガス燃焼分析計へ変更し、
強アルカリ試薬の使用量が低減した為、
ガラス器具や使用試薬の廃棄量低減につながりました。
（試薬使用量年間18L削減）

②NOxとSOxを同時サンプリングへ変更し、これ迄
使用していた吸収瓶、試薬の使用量が低減しました。
また、現場作業時間も削減されました。
（試薬で約50Lの削減、作業時間140時間削減）





同時サンプリング法



仕様書の電子化

現場仕様書を紙媒体から電子媒体にする事で、紙削減が出来ました。
大気分野、騒音・振動の紙媒体、実質ゼロ。

松阪分析センター

BOD室空調変更による電気削減





BOD室空調機ランニングコスト

【BOD室大型空調機 1台仕様】

図面記号	名称	仕様		電気容量
オリオン機械	PAP20A	最大能力:	7.5kw／h	4.5kw

【中温用エアコン+精密空調 仕様】

図面記号	名称	仕様		電気容量
ダイキン	LSEYR2AA	最大能力:	4.9kw／h	1.37kw
アビステ	精密空調機 PAU-GR300SE	最大能力:	0.38kw／h	0.275kw

・月単位の予想電気消費量:Kw／月

現状

月	オリオン
1	3240
2	3240
3	3240
4	3240
5	3240
6	3240
7	3240
8	3240
9	3240
10	3240
11	3240
12	3240
小計	38880
合計	**38880**

⇒

改善後

月	ダイキン	アビステ
1	986	198
2	986	198
3	986	198
4	986	198
5	986	198
6	986	198
7	986	198
8	986	198
9	986	198
10	986	198
11	986	198
12	986	198
小計	11837	2376
合計	**14213**	

年間電気料金 596,808 181,695 36,472

削減電気量： **24667** Kw　15.35 Kw/円

削減電気料金： ¥378,642 円

勤怠管理システムの更新、再構築

17年間使用してきた前・勤怠管理システムの勤次郎がクラウド版に変更になるのを機に、他社製品と比較検討に入りました。その結果、クロッシオンを選定し、2025年8月度から本運用に移りました。下記メリットなどもあり、業務の効率化が図れました。

クロッシオン導入のメリット

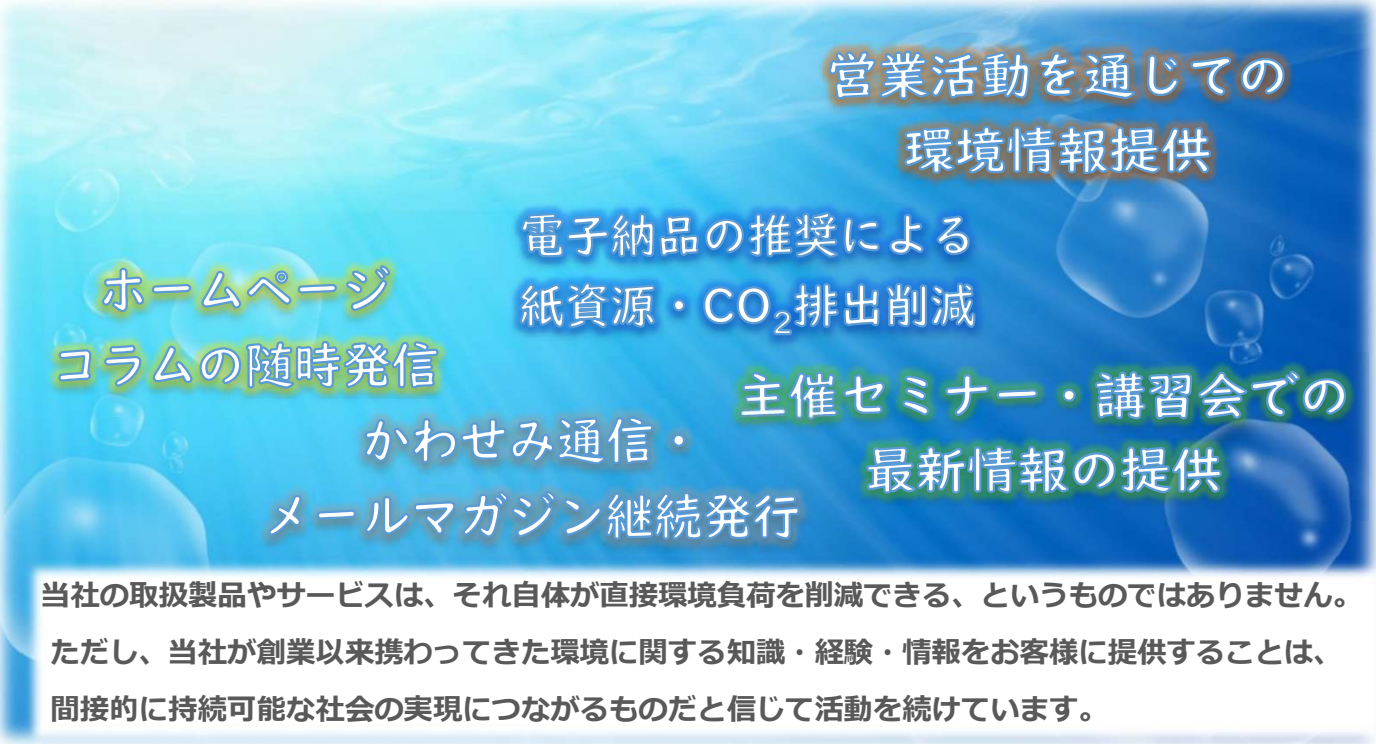
- クラウド版
- 在席確認が可能
- 他社と比較して安価
- 直行直帰、出張にも対応
- 位置情報の確認が可能
- 残業時間の自動計算
- 外出先でスマホからの利用が可能
- 残業理由、実績のExcel出力対応
- 給与計算ソフトとの連携がスムーズ





環境事業部　営業グループ　・　企画開発部

お客様への環境情報等の提供が、将来の持続可能な社会に貢献出来ると信じて。



当社の取扱製品やサービスは、それ自体が直接環境負荷を削減できる、というものではありません。ただし、当社が創業以来携わってきた環境に関する知識・経験・情報をお客様に提供することは、間接的に持続可能な社会の実現につながるものだと信じて活動を続けています。